

つながりがみつかる! つながりがはじまる!

twitter ★ http://twitter.com/#!/center_i
HP★<http://www.center-i.org/>

いちのせき市民活動センターニュースレター アイデア
NEWS LETTER IDEA

AUG
2011
vol.3



idea

8



みちのくワークショップフォーラム

開催中!

まちづくり、教育や環境、福祉やアート、自己啓発など、さまざまな分野で活躍している方々を講師にお迎えし、選んで学べる体験型ワークショップ講座「みちのくワークショップフォーラム」が始まりました。7月から12月まで毎月開催の全6回からなり、受講者は希望のワークショップを選んで参加することができ、来年2月には集大成となる「みちのくワークショップフォーラム」を予定しています。



■第一回 ゆるやかな関係づくり

7月23日、ポイント1にて開催されたレギュラー講座第一回目では受講者12名が参加し「ワークショップの準備体操! ゆるやかな関係づくりを学ぶ」をテーマに、NPO法人風・波デザインの岡市久美子さん、藤尾智子さん、佐藤富美子さん、大吹哲也さん、丸山佑介さんを講師に迎え、体と感性を使う10本のワークショップを体験しました。ワークショップにまだあまり参加したことのない方も参加を対象に、これから数回にわたって行う講座で一緒になる人たちがつながりを持ち、話しやすい場づくりをすることを目的とした初回講座です。ゆるやかな関係づくりとは、自己紹介やミニゲームなどを通して、ウォーミングアップやリフレッシュをしつつ、場の雰囲気を作ることです。ワークショップを日本語訳すると「工房」となり、それぞれ

自のものを作っていくという意味がありません。人それぞれ違っていいし、何をして間違っているのかがワークショップだと講師の丸山さんは語ります。今回はゆるやかな関係づくりのための十本のワークの中から、いくつかご紹介したいと思います。

■あなたの誕生日は?

場の緊張した雰囲気や和らげるため、円に並んで自分の誕生日の場所を探すゲームを行いました。会話はもちろんジェスチャー等のコミュニケーションは一切禁止。そのような状況で目的地に辿りつけるでしょうか。参加者全員が手探りで自分の誕生日を目指しました。

■相手を知らず、そして伝える

続いては、二人一組になり相手のキャッチコピーと紹介文を作成し、相手になりきって紹介するペアワーク。和気あいあいと様々な質問が飛びかいた色々な話題に発展したようですが、話し始めたひとつの話からどこまで真に迫ることができたでしょうか。また、限られた時間で限られた用紙にまとめるのもポイントです。

■マイ・ストーリーを作る

写真を組み合わせ、ひとつのストーリーを作るワークです。同じ写真を素材にしても考える話は異なり、宇宙旅行の物語、男女の縁について、地球を考える話、洋なしを狙う犬の話など、笑いあり涙ありの思いのマイ・ストーリーを発表しました。

続いてグループを作り、各々のマイ・ストーリーから選んだ写真を使ってのグループ・ストーリー作り。各グループなかなか話がまとまらないようでしたが、制限時間ギリギリまで話し合い、グループ・ストーリーを完成させました。違いに気づき認め合うことの大切さ、どうもならない辛い部分を乗り越えることもワークショップの醍醐味、と丸山さんは語ります。

■感性を使った一日の振り返り

参加者は一日を振り返り、一枚の紙をベースに切ったり貼ったり破ったり動かしたり紙芝居を作ったりして、自分を表現しました。思い思いの形で表現された今日の自分を見せ合い発表することで、個人の気づきや思いを全体で共有しました。

風・波デザインさんのワークショップは講師の方も参加することで場の一体感が生まれ、全体を通して笑顔の多いあたたかなワークショップで、講座が進むにつれ参加者の表情や会話が生き生きとしてきたように見えました。これから講座で一緒にいる人たちがつながりを持ち、話しやすい場づくりができたように感じます。

- 2 | **みちのくワークショップフォーラム開催中!**
レギュラー講座1
「ワークショップの準備体操! ゆるやかな関係づくりを学ぶ」

- 4 | センターのやってること
とーばんふうどくらぶ定例会の話し合い支援
一関市協働推進アクションプラン説明会が開催されています

- 5 | 団体紹介
森づくり NPO どんぐり協会

- 6 | 団体情報
老松活性化同志会 花と泉のふるさと親子教室 2011
陸前高田市・気仙沼市 子どもフットサルクリニック
イベントカレンダー
E ポート大会/トリッチ・トラッチ/カッパのサバイバル/障がい者乗馬会
地域での暮らしを考える講座



8月の表紙

亀の湯の煙突 (大手町)

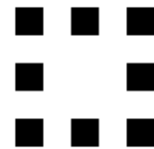
いちのせき市民活動センタースタッフが新人研修のまちあるきで出会った一関市大手町の銭湯「亀の湯」の煙突です。昔からのご近所の生活の場である銭湯の、青空に伸びる悠々たる面持ちの煙突に思わず足を止め、撮影した一枚です。

いちのせき市民活動センターニュースレターidea は、市民活動がアイデアを持って NPO と行政や企業。市民との出会いの機会を創りだすことを目的とした情報誌です。センター情報をはじめ管内の市民活動団体情報や行政情報をお届けします。

いちのせき
市民活動センター
center-i

「ひとりの困った」を
「みんなの困った」に!

地域住民は何を必要としているのか、何をしたいのか、地域の課題は何か。自分たちができることは何かを一緒に考えます。



ロゴマーク

9月に合併をする藤沢町を含めた「8つの地域」が創る1つのひろば「スクエア」を象徴的に表しています。

営業案内

- 開館日 月曜～土曜
- 開館時間 9時～18時
- 休館日 日・祝日&年末年始

いちのせき市民活動センター

〒021 - 0881 一関市大町 4 - 29

☎&Fax 0191 - 26 - 6400

千厩サテライト

〒029 - 0803 千厩町千厩字町 149

☎ 0191 - 48 - 3735

Fax: 0191-48-3736

センターのやっつてること

とーばんふうどくらぶ定例会の話し合い支援

NPO法人とーばんふうどくらぶでは、グリーンツーリズム事業を通じた地域の活性化と交流人口拡大を目的に、様々な活動や事業を行っています。

毎回会場を変えながら行っている定例会は、会員の農園を会場として使用し、お互いの良い点、悪い点を見つけ合いながら、成長しようという声がかきつけられてはじまったそう。今回は、いちのせき市民活動センター千厩サテライトを会場として使用していただきました。



定例会では、「会の活動についての話し合い」を、いちのせき市民活動センターがファシリテーターとして参加させて頂きました。「とーばんふうどくらぶって何する団体？」をテーマに、みんなでもう一度、会の目的について再確認する話し合いを行いました。新旧の会員で目的や望むことが違うため、組織の目的をみんなで共有できるように、会議はすすめられました。

その中で出た意見をもとに「会員宣言」をまとめ、「とーばん興し」古い事も、新しいことも、いろいろな世代につなげ隊、何とかし隊」「とーばんふうどくらぶでは、地域のヒトとモノを動かします」に決定しました。

今後の定例会で、今回のテーマを掘り下げ、団体の目標達成や課題解決の具体的な方法などの議論を続けます。

市民と行政が協力して住みよいまちを目指す協働のまちづくりを目的とした、一関市協働推進アクションプラン説明会が市内公民館などで開催され、当センターはアドバイザーやファシリテーターとして参加しています。

一関市協働の歴史は平成17年の合併に伴う協働宣言からはじまり、協働推進アクションプランは素案の段階から市民と行政で検討してきたプランです。プランは、協働のための人づくり、環境づくり、仕組みづくりと、大きく3つの柱から構成されています。自治会など地域コミュニティ・企業・行政など立場の異なる人たちが、分野・組織を越えて継続的に話し合いをするのが一関市の協働であり、協働の効果として、協働の主体である市民組織・企業・行政が互いの立場を尊重して取り組むことを期待します。

説明会では、プランが目指すまちの姿や、協働のための仕組みづくり



として地域協働体での組織づくりの促進などが提案され、説明に対する地域の方からの質疑・意見からは、それぞれの地域の自治会などの有無、体制や考え方の違いを伺っています。今回の説明会は、分野や組織を越えて手を取り合う協働の第一歩となるでしょう。問題を考え続け、話し合いを続ける、一関の協働がこれから始まりま

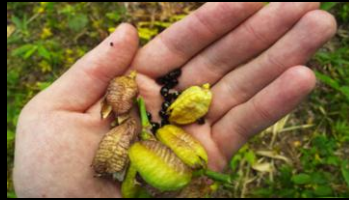
一関市協働推進アクションプラン説明会が開催されています。

団体紹介

—植物はしゃべらないから
何がほしいのかを
分かっているか

森づくりNPO

どんぐり協会



山ではニッコウキスゲの種ができていました。秋に植えると、春に黄色い花が咲くそうです。



農場では、蓮の花が見ごろを迎えていました。茨城県で発見された古代蓮の種を、東京大学の教授から譲り受け、種から栽培して開花させたそうです。



「森づくりNPOどんぐり協会」の菅原仁也さんに、活動について、お話を伺いました。

小学5年生の時に、「山が崩れて、排水路に土が入って、このままでは、だめになってしまふ。」という内容を文集に書いていたという菅原さん。その当時からそのような問題意識をもっており、中学3年生から、実家でたばこづくりを手伝い、ずっと山づくりに携わってきたそうです。「その時の苦しい経験が、今の自分を支えている」といいます。

大学の時、「木の実は木の下に落ちるものです。」という言葉聞いたことがきっかけで、地元に住み、山を利用した生き方として、苗づくりの道を選んだそうです。岩手大学総合農学科で農業経済を学んでいた菅原さんは、経営者と従事者は共同経営をするべきだという考えを研究しており、安比高原にある前森山で、生活から生産までを共同で行っていました。そこではトゲがあつて使いづらいつとされていたカラマツを使用していて、とても充実した時間が流れていたそう。

「植物はしゃべらないから、何がほしいのかを分かっているか」と菅原さんは語ります。現在、胆沢町にある4兆分の農場で苗を作っており、12〜3年前、自分で植えた木の間伐材を使用して、現在の事務所を建設しました。間伐

材は目がつんでいるので、とても丈夫だとか。

国語の教科書に載っていた山中鹿之助という作家の「七難八苦を与えたまえ」という言葉を見て感銘を受け、「課題に立ち向かっていけば、解決するのが楽しみになる。」と語る菅原さんは、そのような姿勢で物事と向き合い、自分の力をいかにして発揮させるかを考えているそうです。

どんぐり協会では、これまでに、管理する山でツリークライミングや音楽会なども開催しました。いろんな音楽家などが来てくれ、オカリナの演奏や大学時代の友人がテノールを披露してくれたそうです。また、岩手大学で中山間地域再生の課題、イギリスにおける環境重視の森林政策、地域の林業史に関する研究などを行う岡田秀二教授と協力し一緒に活動をしていました。春の曾慶小学校のクヌギ植樹祭では小学生的生徒全員が出席して植樹を行いました。

針葉樹の苗木は、県や国を中心に提供を行ってきました。扱うものは苗木（造林用苗木）（針葉樹）（広葉樹）、環境緑化用苗木（高木）（中木）（低木）（ツル性）、種子など。現在、本業である柳森苗圃の従業員は、資金を運営にあてるため、最低賃金で経営を行っ

ています。柳森苗圃として、今年いっぱい農場を完成させたいと、取材の日も朝5時から農作業をしていたといいます。どんぐり協会が管理している日立山頂上の景色はともきれいでした。

植林に使用するクヌギの木は成長量が多く二酸化炭素の吸収率が高いため、今年から機関にその調査を依頼したとのこと。

「一生研究です」と語る菅原さんの、森づくりNPOどんぐり協会としての活動予定は、クヌギ森林冷蔵苗木植林時期延長の限界研究・つるも地地拵えの経費節減の研究・普通苗とポット苗の比較研究などの研究をはじめとして、企業の森林植樹祭・国際森林年記念植樹。秋には、木の収穫祭、木どもの森試食会、を行います。

どんぐり協会の入り口の目印と行き方は次の通りです。1 今泉街道を陸前高田市の方向へ進む。2 右側にあるフクロウのオブジェで右折。3 目印となるどんぐり協会の木の看板で右折。そばを流れる曾慶川ではホタルの観察もできるそうです。

【森づくりNPOどんぐり協会】

●一関市大東町曾慶字山ノ沢115の2

●お問い合わせ

電話 0191-72-3055

fax 0191-72-3062

老松活性化同志会

花と泉のふるさと親子教室 2011



花泉に子どもたちの笑い声高々と響く

ふるさとへの感謝の心を育む親子教室

老松活性化同志会主催の花と泉の水鉄砲や竹とんぼ作りをし、子どもたちふるさと親子教室 2011 が 7 月 30・31 日は元気がいっぱい活動をしていまい御嶽山御嶽神明社（通称 〇おんたけさん）と花と泉の公園で開催され、花泉町を中心に市内の小学校子ども会から合計 145 名の参加者が集まり、花の豊かな土地でふるさとへの感謝を学びながら、親子の交流を深めました。両日は、御嶽神明社で昇殿参拝・花泉町の先人についての宮司さんからのお話・絵馬づくりの後、花と泉の公園へ移動し、ピザ作りや餅つき体験・公園を散策しながらのクイズ・

花と泉のふるさと親子教室を企画したきっかけは、ふるさとに感謝していただくという想いから、と会長の小野寺さんは語ります。親子教室では地域のためになるようなことをしたいと考え、昔から一関のおもてなしといえ

ば餅という事で餅を知るために餅つき体験を企画、地元の先人を知るのは供養と感謝の意を込めた、といいます。

「頭彰しよう郷土の偉人、後世に残そう文化遺産」をスローガンに活動をしています。

【老松活性化同志会】

161-2 御嶽山御嶽神明社内

● お問い合わせ

↓ 電話 0191(82)3382

fax (82)2461

昨年年度はふるさとフォーラムを開催するなど、老松活性化同志会では地域資源を生かした地域づくりの活動を行い、これまでの企画はほぼ大人向けでしたが、今年は JTB の協力を得て地元の人しか知らない楽しみ方を



子どもフットサルクリニック

東日本大震災において、子どもたちの生活環境が一変し、スポーツ少年団やクラブ活動などが十分行えない状態になっています。

ファンスポルト一関スポーツクラブでは、一関市を拠点とするフットサルクラブ「vivale 一関」を運営しており、子どもたちの楽しめる環境を創るため、一関地域で、大船渡市、気仙沼市の小学生3・4年生を対象にしたフットサルクリニックを開催しました。当日は、大船渡の第三FCの子どもたち18人、気仙沼市の気仙沼FCの子どもたち13人がクリニックに参加。Vivaleの選手たち、peace winds japanの山田さんを加えた大勢のメンバーで行ったクリニックの主役は、子どもたちの楽しそうな声です。

まずはチーム作りから。同じ名前のおともだちとペアを作ったり、ホイッスルの数だけ仲間を集めたり。一列になってボールを手渡ししたり、股の下をくぐったり。そして、緊張もほぐれたところで、この日のトーナメントの6人のチームを結成です。



試合は白熱し、「押してダメなら引いてみる！」という浅利監督のアドバイスを受けながら、全力でボールを追いかける姿と、その様子を見守る保護者の姿が見られました。相手チームをうまくかわし、ゴールが決まると、「ゴオオオオオオオル！」という実況と共に、会場は歓喜の声援で埋め尽くされ、熱気に包まれたひと時でした。

午後は思い出づくりのために平泉観光をしました。フットサル交流と観光を楽しんで、「子どもたちが楽しめる環境をつくる」ことで、わが子を見守る保護者の表情にも、安心した様子が見られました。

イベントカレンダー

☎ブログ <http://blog.canpan.info/ichinoseki/>

音楽 プロの舞台を親子で楽しもう

一関子ども劇場では第78回例会「パークッションとストーリーオルガンの「トリッチ・トラッチ」を開催します。賑やかだけど、少し懐かしいらべ…。希望者は一関子ども劇場までお申し込み・お問い合わせ下さい。

🕒日時 9月16日 18時～
📍場所 中里公民館(予定)
→一関子ども劇場
☎&FAX 0191-25-6160
(開局日 火・木曜日 10:30～14:00)

環境 川崎防災センターでサバイバル!

NPO法人北上川サポート協会では、全年齢を対象とした「カップのサバイバル」を開催します。内容はカレーライス作り・段ボールテーブルとイスづくり。希望者はNPO法人北上川サポート協会までお申し込み・お問い合わせ下さい。※募集期限：9月6日(火)/月曜日休館
🕒日時 9月25日
📍場所 川崎防災センター
→NPO法人北上川サポート協会
☎0191-36-5666
❖参加費 500円

大会 明日に向かって漕ぎ出そう

第17回北上川流域交流「Eポート大会」が開催されます。Eポートとは、誰でも簡単に漕ぎことができる、まったく新しいタイプの手漕ぎボートです。また、大会運営に協力できるボランティアスタッフも募集しています。

🕒日時 9月4日 9時～16時
📍場所 北上大橋付近の北上川
→北上川流域交流 Eポート大会実行委員会
☎0191-36-5666

自然 佐々木牧場で馬たちと触れ合う

パカポクラブでは、馬たちと触れ合う時間を楽しむのがい者乗馬会を開催します。参加希望者とボランティア希望者は佐々木牧場に集合して下さい。
🕒日時 23年9月25日 10～12時
📍場所 佐々木牧場
→パカポ
☎0191-82-5584
❖参加費 一人1000円

センター行事

講座 地域での暮らしを考える講座

いちのせき市民活動センター、一関市社会福祉協議会、一関市公民館は、共同企画として地域での暮らしを豊かにするための講座を開催しています。今回は「いなかのライフスタイルの提案～古民家を活用した都市農村交流～」と題し、一関市全域を舞台にさまざまな体験活動や地域の方々との交流を推進する活動を行っている、たびれっじ推進協議会代表の中本忍さんを講師にお招きします。
多くの方のご参加をお待ちしております。

🕒日時 9月17日 10時～11時
📍場所 一関市総合福祉センター 3階大会議室
→いちのせき市民活動センター
☎0191-26-6400
❖参加費 無料

いちのせき 市民フェスタ11

2011.8.28 sun 10:00 - 15:00

一ノ関駅東口交流センター

入場無料

いちのせき市民活動 Zone

福祉ゾーン

NPO法人アートで明るく生きるかわさき NPO法人響生
NPO法人レスパイトハウス・ハンズ NPO法人ケアセンターいこい
NPO法人ワークハウス雲

地域おこしゾーン

NPO法人とーばんふーどくらぶ 老松活性化同志会 未来塾
たびれっじ推進協議会 一関マジックの会 一関世代にかける橋

子どもゾーン

NPO法人いちのせき子育てネット 一関少年少女発明クラブ
大東町少年少女発明クラブ

環境ゾーン

NPO法人北上川サポート協会
一関地球温暖化対策地域協議会

...and more!

様々な団体の活動報告や体験、

販売コーナーなど、楽しさいっぱい！



体験コーナー



左上から 体験わんこもち大会 不注意運転を監視！ドラモニ体験
みんな楽しめるステージマジック！音楽と美術「なるなるかくかく」
ほかにも... あーと手ぬぐい教室 子ども服おさがり広場 など...

全国地域事例トレーディングパーク

全国の市民活動や地域づくり活動の事例フリーマーケット！先導事例の閲覧、活動資料等が入手できます。
また、震災から5ヶ月、私たちに何ができるのか、何がやれるのか、復興に向けた支援活動の紹介もあります。

日本一の蔵再生によるまちおこし

NPO法人まちづくり喜多方(福島)

農村体験の舞台や学びの場として古民家を活用

NPO法人遊楽(茨城)

情報から始まる防災・減災活動

NPO法人元気みやぎ研究所(宮城)

まちづくりコーディネーター養成講座で人材育成

NPO法人風・波デザイン(岩手)

北上市協働のまちづくり

NPO法人いわてNPO-NETサポート

...and more!



NICCO 京の町家から、世界に笑顔を。
公益社団法人 日本国民財協協力会 NICCO

peace winds
JAPAN

World Vision
この子を救う。未来を救う。

NICCO

ピースウィンズジャパン

ワールドビジョンジャパン

NPO 法人@リアス NPO サポートセンター(釜石市)

NPO 法人やませデザイン会議(久慈市)

いわて連携復興センター

...and more!

【主催】いちのせき市民活動促進会議インアーチ

【後援】一関市

【事務局】いちのせき市民活動センター 岩手県一関市大町4-29 TEL&FAX 0191-26-6400 e-mail:center-i@tempo.ocn.ne.jp